

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 44番
- \*交読文 …………… 41番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 25番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 478番
- 聖餐式…………… 281番
- メッセージ …………… 人をとる漁師とは(ヨハネ 21:1-14)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 499番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

イエスが\_\_\_\_に言われた、「恐れることはない。今から\_\_\_\_は人間をとる漁師になるのだ」。そこで\_\_\_\_は舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。(ルカ 5:10-11)

わたしに求めよ。わたしは国々を\_\_\_\_へのゆずりとして与え、地をその果て果てまで、\_\_\_\_の所有として与える。\_\_\_\_は鉄の杖で彼らを打ち砕き、焼き物の器のように粉々にする。』それゆえ、今、王たちよ、悟れ。地のさばきづかさたちよ、慎め。恐れつつ主に仕えよ。おのきつつ喜べ。御子に口づけせよ。主が怒り、\_\_\_\_が道で滅びないために。怒りは、いまにも燃えようとしている。幸いなことよ。主に身を避ける\_\_\_\_は。(詩篇2編)

主が復活された日、主は弟子達に「あなたがたに平和があるように(シャローム)」と言われ、ほふられたその手とわき腹とを示された。その時いなかったトマスにも現れ、刺し貫かれた手と胸腹、赤く裂け骨まで見えているその傷跡を示され、「あなたの指を、ここに差し入れてみなさい」と御声をかけられた。復活の主は、私達が見たり触ったりできる訳ではないが、いつも共におられ、私達の事を、いつも見て、聞いて、知っておられ、そして、私達が生活を送るあらゆる場面において、そのご性質を現される。主がその後、弟子達にご自身を現されたのは、テベリヤの湖畔で、弟子達が漁に行った時だった。この時、彼らは単に食べ物がなくなったから漁に出たのか、それとも、イエス様があまりにも現れないので、以前の世の仕事である「漁」に戻ったのかは分からない。ともかく彼らは、**夜通し働いて、何もとれなかった。**

魚を水の中から引き上げる「漁」は、福音宣教に似ている。死という水の中でうごめいている人のいのちを、御言葉の網によって捕らえ、死の中から引き上げる。イエス様を伝える事は、まさに「人間をとる漁」である。しかし、いかに神の子達が首を揃えて集っても、イエス様抜きで、闇の中を一晚中もがいて「世の漁」をしても、何もとれない。しかし、義の太陽であるイエス様が現れ、**その御言葉に従う時、そんな闇雲の虚しい努力は終わりを告げ、安息と喜びの内に、大漁を得る事ができる。**『夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。しかし弟子たちはそれがイエスだとは知らなかった。イエスは彼らに言われた、「子たちよ、何か食べるものがあるか」。彼らは「ありません」と答えた。すると、イエスは彼らに言われた、「舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう。彼らは網をおろすと、魚が多くとれたので、それを引き上げることができなかった。』(ヨハネ 21:4-6)

彼らは、イエス様だとは分からない時に、お言葉に従順し、従順した時、圧倒的な結果が待っていた。ゆえに**大事な事は、イエス様を「知識で知る」以前に、主の言葉を「聞いて実行する」事**である。自然界は、イエス様に服従する。天地は主の御言葉に服すのだが、どういふ訳か、人だけが従順でない。しかし、私達がイエス様の言葉に服従し、その圧倒的な結果を見る時、はじめてイエス様を知るのである。

人間をとる漁師とは、イエス様の言葉に従順し、イエス様が「ここ」と言われた所に、イエス様が示された御言葉の網をおろすだけであって、一晚中「闇雲」に運任せで網を降ろすものではない。パウロも、およそ千キロ以上、靈的収穫も特に無いまま、さまよった末、ようやく御心はアジアではなくマケドニアにある事が分かり、それに従順した結果、ヨーロッパで最初のキリスト教会がピリピに建てられた。(使徒 16:6-15)

御胸に従順しないで、ただ自分の好む「大漁」を目指して闇雲に走るなら、網に雑魚が入ってきても、毒魚が入ってきても両手放しで喜んでしまうという、恐ろしい事になってしまう。私達がイエス様のお言葉に従うなら、良質の魚が、自ら御言葉の網の中に入ってくる。だから、人間をとる漁師とは、自分のやりたい事を降ろし、「**あなたのお言葉ですから、網を下ろしてみよう**」の連続なのだ。実際ペテロは、この言葉のゆえに、人間をとる漁師となった。

『イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「**あれは主だ**」と言った。』(7節) 御言葉に従順し、圧倒的な御業を見る時、それは「主であった」と知る。そればかりでなく、**主は、闇雲に苦労した末に従順した私達に、ごちそうを用意して待っておられる。**『彼らが陸に上って見ると、炭火がおこしてあって、その上に魚がのせてあり、またそこにパンがあった。イエスは彼らに言われた、「**今とった魚を少し持ってきなさい。**』(8-9節) こうして**イエス様が用意して下さった魚に、主に示されて私達のとった魚も加えられ、宴会が始まるのだ。**『シモン・ペテロが行って、網を陸へ引き上げると、百五十三匹の大きな魚でいっぱいになっていた。そんなに多かったが、網はさけないでいた。』(11節) かつてペテロが召命される時に彼が降ろした網は、破れてしまった(ルカ 5:6 KJV)。しかし今回、こんなにも大漁であったのに、網は破れなかった。イエス様が十字架で勝利し、復活以降の網は、決して破れない。イエス様に一度捕らえられたなら、決して離れる事なく、見捨てられる事なく、世の終わりまでいつも共にあるのだ。この主の御言葉の網、愛の網に捕らえられ、さらに多くのいのち達を、死という水の中から引き上げ、救い出し、主の働き人として働く皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ 12:00～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00  
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈禱会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト